



レジ袋有料化についてのコラムです。読んでみよう。

①昨年9月の気候行動サミットでグレタ・トゥンベリさんは何と演説しましたか？

.....

.....

.....

.....

.....

②筆者が6月末まで私たちの身近なところにあった「おとぎ話」としているのはどんなことですか？

.....

.....

.....

③日本のプラスチック廃棄物対策の問題点について、筆者は何と指摘していますか？

.....

.....

.....

④筆者が「日本のレジ袋規制は諸外国と比べて見劣りする」と感じている理由は何でしょう？

.....

.....

.....

東西南北

2020.7.1



で、当時16歳だった環境活動家のグレタ・トゥンベリさんが、将来を担う世代を代表して演説した。

「われわれは絶滅の入り口に直面しているのに、あなたたちが話すのは金と永遠の経済成長というおとぎ話だけ」。そして冒頭の言葉に続く▼グレタさんに叱られそうな「おとぎ話」は身近なところにもある。手ぶらで買い物に行っても、商品を無料のレジ袋で持ち帰れるという、日本の

「How dare you!」。強い怒りを含んだ英語の表現で「よくもそんなことを」といった意味だ▼昨年9月、国連の気候行動サミット

消費生活もその一つ。だが、それも6月末で終わった。プラスチック廃棄物の削減を目的に、きょう1日から全国でレジ袋が有料化された▼「日本のプラスチックの再利用率は80%を超えているんだよ。だから怒らないで」と言いたいところだが、この数字には裏がある。素材としての再利用率は24・8%。56・8%が発電などの燃料としての再利用で、詰まるころ、燃やして温暖化ガスを発生させている▼終わったと思われた無料レジ袋のおとぎ話には、続きがある。植物などから作られるバイオマスプラスチックを25%以上含んだレジ袋は有料化の対象外になった。この他にも例外があり、諸外国の規制に比べると見劣りがする。グレタさんの顔色が気になる。